

5. 調査参加者の感想

調査用紙の感想欄には多くの方々から感想をよせていただいた。参加者の生の声として、調査を進める上でも参考にさせていただいた。紙面の都合上全部を掲載することができないが、その一部を府県ごとに紹介する。

【福井県】

- ・同じに見えるタンポポも種類がちがうことが分かりました。
- ・ほとんどのタンポポが5のタンポポでした。
- ・私は、タンポポがどこにでもあると思っていたけど意外にないことにきづきました。
- ・1つの株に花とタネがあるものをさがすのは大変でした。でも楽しかったです。
- ・時期がおそかったので他の草丈が伸びていたがそれ以上に種のついた茎が高く種子を飛ばしやすくなっていた。
- ・住宅地近く、畑地は外来種だが、旧線路ぞいには在来種が多い。
- ・山沿いだが、外来種ばかりだった。
- ・都市部→農村に向かって調査しましたが、グレーゾーン（在来と外来が共存する場所）はなく、0か100かであることに驚きました。
- ・白花のタンポポははじめて自生しているのを見たので感動しました。
- ・以前の調査と比べると、シロバナタンポポが増えたように思います。又、外来種は新しく道や空地を形成したところは大変多く生育していました。特に六呂師は多く生育していて一面が黄色くなっていました。それに対してグランドなどを形成しても、手入れせず雑草にまかしたところでは減少したように思いました。在来種は道も作らず昔のままの土地に細々と生きていました。

【三重県】

- ・自分の近くに色々な種類があることを知らなかったです。（鈴鹿市在住 小学生）
- ・毎年、白いタンポポが群生して咲く田の土手で肥料が効いているのか茎、葉、花がとても大きく、緑の色がきれいです。（亀山市在住）
- ・5年前の調査ではほとんど見られなかったセイヨウタンポポをまだ数は少ないがほぼ各地で見られるようになった。（志摩市在住）
- ・外来種は車等でよく踏まれる所に多いようだ。やわらかい土の所は同じ地でも在来種が多い。（志摩市在住）
- ・造成地の周囲に外来種はたくさんあるが、シロバナは2株だけ。（鈴鹿市在住）
- ・小学校の東運動場には外来種しか咲いていませんでした。（四日市市在住 小学生）
- ・総苞外片がこんなに微妙に異なること初めて知りました。（四日市市在住）
- ・年々数が増えているように見事に黄色いじゅうたんのようで感動です。（伊賀市在住）
- ・花が咲き終わった後、茎の色が赤っぽくなっているものが多く見られたのですが、不思議に思いました。（亀山市在住）
- ・開発地跡の公園のためやはりセイヨウタンポポです。（桑名市在住）
- ・発見です。ルーペで種を見てたらぎざぎざが付いていました。これって飛ばされた場所でしょうか？（紀北町在住）
- ・タンポポの細かいところまで観察出来てよかった。（四日市市在住 中学生）

【滋賀県】

- ・湖岸側にセイヨウタンポポ、山手側にカンサイタンポポが多く見られた。
- ・自衛隊敷地は戦車が並び(他から来たもの)、合同演習中で入れなかった。すぐ近くに数本集まって黄花が咲いていた。フェンスに体を押し付けてそれを調べた。葉も茎もともに大きめだった。
- ・②a（セイヨウタンポポ）の多い道路沿い。草地ばかりなのでb（アカミタンポポ）を探しました。2か所だけあり、見つけられたのがうれしかったです。
- ・イノシシ対策に農薬を撒いているそうだが、かろうじて生き残った個体である。
- ・タンポポの違いを知ってから気にかけていましたが、一部にだけ在来種が咲くのが不思議です。タネはありません。
- ・にほんタンポポはないと思ったけれども、意外に多かった。
- ・タンポポが小さかった。タンポポ良く見てみたら、花卉の大きさや細かさがところどころがった。
- ・タンポポの総ほう外片を詳しく見たことが無かったので、今回ちょうさできてよかった。
- ・家族で歩きながらタンポポの生育。分布状況を確認するのが楽しかった。
- ・三島池周辺は在来種の群落が大きく分布し、道路のそばは外来と混生。
- ・カンサイはセイヨウに比べて、全体的にほっそりしていて、花色も淡く、セイヨウにはない(?)はかなさを感じる。
- ・タンポポ調査を始めた時から同じ場所付近に必ず咲いてくれます。花は小さくなりました。
- ・この調査をしてみて、もっとこのようなことに協力できたらと思いました。セミの分布調査とか。

【京都府】

- ・タンポポの花はかなり低い位置についているイメージがあったが思いの外背が高かった（50cmくらい）。（京都市山科区在住）
- ・タンポポは意識して探してみるとなかなか見つからなくて大変だった。（相楽郡精華町在住）
- ・黄色のたんぽぽは同じものと思っていたのですが在来種と外来種と2種類だったとは驚きです。（宇治市在住）
- ・岩倉には在来種と外来種が混在しているがわりと在来種が多い様に思う。（京都市左京区在住）
- ・在来種のほうが多いと思ったけど外来種のほうが多かったからびっくりした。（綾部市在住）
- ・時間帯によって花の開き具合がちがった。（乙訓郡大山崎市在住）
- ・自分の家の近くのタンポポがどのような種類か知れて良かったです。（京都市右京区在住）
- ・初めて調査をしました。継続して調べたい。（相楽郡精華町在住）
- ・普段は気にして見ていない所が多くておもしろかったです。（木津川市在住）
- ・こんなにタンポポをまじまじ見つめたのははじめてです。（堺市在住）

【大阪府】

- ・大きな屋敷跡でシロバナ・カンサイ・セイヨウがいっぱい混在。
- ・ナルトサワギクが多く、タンポポは減少。
- ・周囲の畑の畔道・家の脇などすべて在来種。
- ・たんぽぽはどこにでもさいている雑草と思っていたが、探すと意外と少ないと感じた。
- ・カンサイタンポポが残っていそうな場所だったが残念ながらすべてセイヨウタンポポだった。
- ・けっこう調べてみたけど、ぜんぶ外来種やったのがびっくりでした。
- ・同じ株から花と種を同時に採るのが難しかったです。



- ・カンサイタンポポらしきものと、アカミタンポポ、セイヨウタンポポが近い場所に隣り合わせに生育している。
- ・身近な所にたくさんのタンポポがあるのに、あまり関心がなかったが、これを機会にタンポポを採集して調べていきたいです。
- ・手軽にタンポポを調査できるので良かった。結果が楽しみです。

【兵庫県】

- ・タンポポをあまりくわしく見たことがなかったのでおもしろかったです。(姫路市、中学生)
- ・夕方に採ったが、花びらが閉じかけていた。人間みたいだなと思った。(姫路市、高校生)
- ・意識してみると自分の家の周りにもたくさんタンポポが咲いていました。(姫路市、高校生)
- ・きれいに咲いているタンポポをとるのは少しかわいそうだなと思ったけど、この際にたくさんのタンポポを見ることができて、春を楽しめた。(姫路市、高校生)
- ・初めてじっくり見たけど、意外と花びらが多くてかわいかった。(姫路市、高校生)
- ・久しぶりにタンポポを「ふー」って、した。(姫路市、高校生)
- ・コンクリートのわずかな隙間にタンポポが生育していたので、タンポポの生命力を感じました。(尼崎市)
- ・在来種に出会えて感動し、思わずシャッターをきりました。(神戸市)
- ・人が入らない所のせいか、一面カンサイタンポポである。こんなにも多いと感心しました。(尼崎市)
- ・今年はさむいので、あまりたんぽぽがさいていない。(宝塚市、小学生)
- ・夕方になるとタンポポはしぼんでしまっていてあまりなかったので少し焦りました。(伊丹市、中学生)
- ・綿毛がなくなったところをよく見ると、小さな点がたくさんありました。それは綿毛がついていたところでした。(伊丹市、中学生)
- ・私はタンポポに種類があったこと、色が違うこと、今回このタンポポ調査をして初めて知りました。だから、この調査をしているときは楽しかったし、そのときに近くにあった花を観察したりして、すごくこの調査でいろいろなことが分かったと思います。(伊丹市、中学生)
- ・最初はめんどくさかったけれど、友達と探したりできて楽しかったです。(伊丹市、中学生)

【奈良県】

- ・いろんなところにタンポポがあった。タンポポをとるときに少し罪悪感があった。(奈良市在住・大学生)
- ・タンポポについて、少し知るだけでタンポポを見る目が変わりました。(奈良市在住・大学生)
- ・山歩きをしているので山地で探したが見つからず、家の周辺で探した。(斑鳩町在住)
- ・タンポポを雑草として抜いていましたが、もったいないことをしました。(奈良市在住)
- ・白いタンポポがあるの？とびっくりしました。(大阪市在住・高校生)
- ・意識していないと見落としてしまいそうな場所にあたりする。(鳥取県在住)
- ・レアな白色をねらっていたけど、みんな綿毛になっていてなかなか見つかりませんでした。(大阪市在住・高校生)
- ・公園の中には在来種が多いが、公園の近くの道路沿いには外来種・雑種です。(奈良市在住)
- ・総ほう外片の先端がカギ型をしている中間型が身近に出現したのは驚きです。(奈良市在住)

【和歌山県】

- ・たんぽぽって一種じゃないんだなと初めてしりました。
- ・シロバナタンポポを自分で見つけたかったです。
- ・タンポポ調査を通して、自分の周りの地域を散策出来て楽しかったです。
- ・この周辺はほとんどがこの種で一部に外来種も混んでいた。
- ・あまり外来種が見られない事に気付きました。
- ・沢山の株はありましたが、ほとんどの花は咲き終わり、種も飛んでいました。
- ・家の庭に咲いてなかったのですが、おとなりのたんぽの畦に咲いてました。
- ・茎が長くて大きくて私が見つけると思ったたんぽぽと違っていて驚きました。
- ・先日のたんぽぽ調査会でのご指導ありがとうございました。自分でもタンポポを探す事が出来るようになって良かったです。
- ・白いたんぽぽを発見して嬉しかったです。
- ・山登りはしんどいけど、色んな植物が見れて良かった。
- ・山の裏では和製と西洋が共存していたことに驚きました。
- ・よく見ていないと発見しそこないそうだった。
- ・在来種かなって思ったけど顕微鏡をみたらバラバラでびっくりした。
- ・カンサイタンポポだけかなと思っていたがセイヨウや雑種もあったので驚いた。

【鳥取県】

- ・なぜ雨の日には咲かないのか疑問に思った。(中学生)
- ・どこにでも咲いてるイメージだったけど意外に見つからなかった。(中学生)
- ・タンポポに種類があることを初めて知ってびっくりした。(中学生)
- ・この地域にはシロバナが点々とある。花が大きい！
- ・未舗装の土手なのでたくさんあるかと思いましたが、無くて無くてやっとみつけました。
- ・在来種が全然無かった。
- ・道ばたにタンポポの列。セイヨウタンポポばかりでがっかり。
- ・茎から出る白い液がベトベトした。(中学生)
- ・山奥の道沿い。こんな山奥にまで外来が入り込んでいるのがっかり。観光地のためかも。
- ・周りではタンポポよりもブタナの方が数が多かった。

【島根県】

- ・先週までは丈が短く咲いていたものが、花の下が 15cm も伸びていた。
- ・タンポポを注意して見るようになりました。総苞外片が反り返っている物がほとんどの中に密着しているものを見つけて嬉しくなりました。
- ・在来種のタンポポはほとんど見かけないことに驚きました。
- ・隠岐の島にはオキタンポポがありますがセイヨウタンポポもかなり入りこんでいました。
- ・佐香小学校の近くにクシバタンポポが昔あったというので探してみるが、外来のものだけしかない。
- ・この調査があるまで黄色のタンポポは西洋タンポポと思い、いつも抜いていました。
- ・以前から実家の墓の近くで日本タンポポがあった場所に、今年は西洋タンポポもあり驚いた。
- ・この花の葉はギザギザで同じ所に丸みをおびた葉のタンポポもあった。(中学生)
- ・タンポポにこんなにも種類がある事を知らなかった。道端の草花に目がいくようになった。
- ・タンポポの花をじっくり見ることができた。(小学生)
- ・生まれてはじめて日本タンポポを見たのでびっくりしました。(小学生)



- ・タンポポはいろんな種類があるんだなと思いました。(小学生)
- ・白色の花を見つける事ができうれしかった。以前は、タンポポは白色と思っていたので。
- ・よく見るのは黄色タンポポなので、近くに白色のタンポポがあるのにはビックリしました。(高校生)

【岡山県】

- ・家の近くのは日本のタンポポと思っていたが違った。(津山市在住)
- ・いつも見ているタンポポだけど、いろいろな種類があることがわかった。(津山市在住)
- ・荒れた畑の中にセイヨウが集地的にあった。(総社市在住)
- ・旧道を広げて新道にしていたところにセイヨウがあった。(岡山市在住)
- ・ほ場整備したたんぼの畦や農道の脇は、アカミとセイヨウの混生の大群落。(美咲町在住)
- ・タンポポを探しているとそこら辺にタンポポの株がたくさんあることに気づきました。そこから僕は、タンポポは生命力のある植物なんだと改めて思った。(倉敷市在住、中学生)
- ・普段何気なく見ているタンポポでも、たくさんの種類があることが分かりました。在来種だと思っていたタンポポが外来種だったので驚きました。(早島町在住、中学生)
- ・タンポポはどこにでも生えているものかと思っていたが、実際に見に行くとなかなか見つからなかった。自然が減ってきていることを感じた。(倉敷市在住、中学生)
- ・タンポポはどれも同じに見えるけど、細かく詳しく見てみると、結構違いがあるんだということが分かり驚きました。これからはタンポポを見つけたら、ちょっと詳しく見てみたいなと思うようになりました。(倉敷市在住、中学生)
- ・30～40年前は白花のみでしたが、20年くらい前ごろからセイヨウタンポポ一色になりました。(新見市在住)

【広島県】

- ・日陰にタンポポが生えていたのでびっくりしました。
- ・川の片側には多かったが、反対側には全然なかったのでびっくりした。
- ・シロバナタンポポはセイヨウタンポポに比べて、1つの(頭)花のタネが少ないように感じました。(小学生)
- ・休耕田2枚に一面に黄色い花が壮観であった。
- ・植物を観察するのは楽しいことがわかりました。
- ・タンポポの花びらの内側にうずまきのようなものが多数あった。
- ・タンポポにいろんな種類があるなんて知らなかった。
- ・昔はいろいろな所で目に付いたが、探すとなかなか見つからなかった。
- ・インターネットでタンポポを調べてみたら、思った以上に種類が多かった。
- ・ここは外来種ばかりでがっかりした。
- ・取ったときはきれいだったのに、何日か置くとしおれてかわいくない。

【山口県】

- ・近くにセイヨウタンポポとクシバタンポポがあり、その中に総苞があまり反り返らないものがあった。(周南市在住)
- ・夕方採ったタンポポを夜になって調べようと思ったら、しぼんでいて分かりにくかった。(岡山県在住、小学生)
- ・山中ですが、自動車の駐車場なので明るく、ここまで歩いて(とんで)来たのだなあとと思いました。(山口市在住)
- ・数歩しか離れていない所のタンポポなのに、様子がちがうので驚いた。(山口市在住)
- ・茎の長さが短いタンポポがかたまっていた。(山口市在住)
- ・同じ場所で、花は同じなのに葉の形はいろいろでした。(防府市在住)
- ・黄花と白花が咲いていました。(愛媛県在住)
- ・直径が5cmくらいの頭花で、くし葉の花が16株咲いていました。頭花が3つ付いているのが1株、頭花が2つ付いているのが1株。(愛媛県在住)
- ・さん歩をしながらやったので、楽しく調べることができた。(岡山県在住、小学生)
- ・セイヨウタンポポながらそり返らず。(光市在住)

【徳島県】

- ・タンポポを注意してみればたくさんあったのでびっくりしました。また、1つの場所に種類がちがうタンポポがあったりして、おもしろかったです。これからも見ていきたいと思います。・同一株で花の咲く時期、種になる時期がずれるので天気にも左右され意外と採集に苦労しました。
- ・タンポポは、どこにでもはえているイメージがあったけど、タンポポと思っていたのがニガナだったりしておどろきました。
- ・あらためてタンポポをきちんと見るとしくみがよくわかり、タンポポについてくわしく知る良い機会となりました。この調査をとおしてタンポポが好きになれた気がします。
- ・タンポポは種類が一つしかないと思っていたがたくさんあって驚きました。タンポポを観察することによって、今まで外来種や在来種など考えたこともなかったのととてもよかったです。タンポポの在来種がずっと徳島県で咲いてくればいいなと思います。
- ・自分の見つけたたんぼの花や種をわたすだけで表や地図にあらわすことができるのがすごいと思った。
- ・昨年と同一場所に見に行ったのですが、夏に除草剤散布により数株を残して群落が消滅していました。
- ・黄色のタンポポは多かったが、白っぽいのがほんの少しだけありました。白いタンポポを見つけることができ感動しました。
- ・5月末になって花と実をたくさんつけているのはセイヨウタンポポばかりとなっています。また、昔と違ってタンポポは春でなくてもよく見かける事があります。
- ・昔からここに住んでいますが、シロバナタンポポを初めて見つけ、新聞で読んだ調査に参加してみました。調べて気がついたのですが、今まで外来種だと思っていたタンポポが在来種というのもびっくりしました。このような小さな、でも暖かい発見をさせてくれた調査に感謝です。





【香川県】

- ・タンポポはどこにでもあると思っていたけど意外と大変だった。
- ・意外と周囲にタンポポが多く咲いていることが分かった。けっこう色々な種類がありそうだった。
- ・日かげ、夕刻にもかかわらず、光傾性を無視したかのような花の開きっぷりに感銘した。
- ・タンポポにも種類があることを初めて知った。
- ・昔タンポポのあった所でも今はないことがあった。
- ・一つ一つのタンポポに少しずつ違いがあり、その違いが種類などを見わける手がかりになると分かった。
- ・たんぽぽ少なくなった気がします。田んぼのあぜコンクリートの所が多くなりました。
- ・タンポポを調査したのは初めてだったけど、楽しかった。
- ・タンポポをあまりじっくりと見たことがなかったので良い機会になりました。
- ・タンポポにも色んな種類があってびっくり！日本のタンポポがこれ以上減りませんように。

【愛媛県】

- ・ふと道端に咲いていると立ち止まったら、駐車場に元気に咲いているのが何輪かあった。（松山市在住，大学生）
- ・今までタンポポと思っていた植物がちがっていたことがわかった。（松山市在住）
- ・小雨でしたが会社の人の許可をもらって会社敷地で採取しました。（松山市在住）
- ・もっとたくさん送ろうと思っていたが、花と種が一緒にあるときに通りがかるのが難しく、花が咲いていると思うと種がなく、あっという間に種だけになっていた。でもとても楽しかった。（愛南町在住）
- ・昭和30年代頃の農地のあぜ道にあたるところに咲いてます。（松山市在住）
- ・梅林に白花が100株以上咲いていました。（今治市在住）
- ・意外にタンポポが見つからなくてびっくりしました。（松山市在住）
- ・病院内の植え込みの中に一株だけシロバナあり。（西予市在住）
- ・里帰りのときには行き帰り別の道でタンポポを探しています。（松山市在住）

【高知県】

- ・墓地の上り口のあまり土のないところに風をよけるように咲いていた。（四万十市在住）
- ・山の段々畑までセイヨウタンポポ(黄花)がたくさん生えていた。（香南市在住）
- ・シロバナタンポポではないかと思う。40年来の休耕田の中に雑草と共生している。（四万十町在住）・手前の山側、海側はタンポポなし。（土佐清水市在住）
- ・道沿いのコンクリートの割れ目のような所に地面にへばりつくように咲いていた。（四万十市在住）
- ・鹿に食べられてほとんど植物がなくなっている。タンポポも少しだけ。（四万十市在住）
- ・見つけたほとんどが外来種だった。（梶原町在住、高校生）
- ・黄色、白色、黄色、白色と咲いている。（高知市在住）
- ・（シロバナタンポポの）一番外の花びらの裏に薄紫色が見える。（香美市在住）
- ・夕方に日差しのある斜面に咲いていた。（女子大学生）
- ・タネをみたら赤褐色に見えたが、茶といわれれば茶にも見える？（安芸市在住）
- ・さわってみたらふわふわのけがわで、おおわれていたのできもちよかったです。（高知市在住、小学生）

【佐賀県】

- ・花は地面に寝たような状態で咲いていた。
- ・あまり気にしていなかったけど、色々な種類があることに気が付いて面白かった。
- ・（アカミタンポポについて）セイヨウタンポポと混生していた。全体的にアカミタンポポの方が葉の切れ込みが深い印象がある。
- ・（アカミタンポポについて）ほぼ同じ場所にセイヨウタンポポがある。赤褐色がやや薄いと思いますが、雑種でしょうか。
- ・日の当たらないところでしたが、たくさん咲いていました。
- ・花と種子の両方がそろった時を選ぶのがなかなか難しい。
- ・雑草の繁殖力に驚きです。場所や環境を選ばず何処にでも育つ生命力。
- ・田んぼの中の農道より市内の舗装された道路沿いの方がよく見かける気がします。
- ・一所の群落はどれも同じタイプであった。
- ・在来種はなかなか見つからないものですね。
- ・身近にあったタンポポに良く気付くようになりました。



6. 文献目録

タンポポ調査やタンポポと環境の関係、地域のタンポポの分布などタンポポに関する文献目録を、地域ごとに年代順に並べて掲載した。この他にもタンポポ関連の文献はたくさんあり、現状では全部について網羅できていないので、今後も収集・整理していく予定である。なお、1994年以前の文献は下記によくまとまっているので参考にしていきたい。

日本自然史研究会編（1991）日本産タンポポ類文献目録（1）．自然史研究雑誌, (1):55-56.
日本自然史研究会編（1994）日本産タンポポ類文献目録（2）．自然史研究雑誌, (2-4):93-102.

【全体にかかわるもの】

内藤俊彦（1975）タンポポ属の侵入と定着について．生物科学, 27(4):195-202.
森田龍義(1976)日本産タンポポ属の2倍体と倍数体の分布. 国立科学博物館研究報告(B), 2(1):23-38.
堀田 満（1977）近畿地方におけるタンポポ類の分布．自然史研究, 1(12):117-134.
森田龍義（1978）日本産タンポポ属2倍体の変異と分類．種生物学研究, (2):21-34.
タンポポ調査1978年実行委員会（1978）たんぽぽ78年度調査報告．1-13.
本谷 勲（1982）タンポポが語る都市の荒廃．アニマ, (109):84-88.
小川 潔（1982）タンポポの生活誌．アニマ, (109):90-94.
森田竜義（1982）タンポポ戦争の主役たち-在来種と帰化種の分類-. アニマ, (109):95-100.
芹沢俊介・小川雅恵・佐藤みゆき（1982）東海地方西部におけるセイタカタンポポ-トウカイタンポポ複合群の地理的変異．植物研究雑誌, 57(7):196-204.
小川 潔・本谷 勲（1985）東京圏における外来タンポポの侵入と在来種タンポポの残存（英文）．日本生態学会誌, 35(4):443-452.
沢田信一（1987）タンポポの在来種と外来種の競合．遺伝, 41(3):41-47.
井上 健（1987）植物の種内変異とは何か．自然保護, (303):14-15.
波田善夫(1989)タンポポの分布の現状と未来. 矢野悟道編「日本の植生 侵略と攪乱の生態学」:159-169, 東海大学出版会.
浜口哲一(1989)神奈川県におけるタンポポ調査の事例と今後の課題. 神奈川県自然誌資料, (10):9-16.
小川 潔（1990）都市化とタンポポ-進む在来・外来種の交代現象．日本の生物, 4(4):60-65.
森田竜義(1997)世界に分布を広げた盗賊種セイヨウタンポポ. 山口裕文編著「雑草の自然史」:192-208. 北海道大学図書刊行会.
米山正寛（1997）まちがっていた「西洋」優勢．SCIaS, (1997. 4. 4):4-5.
芝池博幸・森田龍義（2002）拡がる雑種タンポポ．遺伝, 56(2):16-18.
芝池博幸・秋山 永・内山 聡・河西 香・森田竜義（2002）ヨーロッパ産タンポポとアジア産タンポポの交雑（タンポポ属 Ruderalia 節と Mongolia 節）2．葉緑体DNAマーカーによる雑種個体の検出（英文）．植物学雑誌, 115(5):321-328.
布谷知夫・木村進（2004）タンポポ調査の意味と雑種問題．関西自然保護機構会誌, 26(1):41-42.
芹沢俊介（2004）雑種性帰化タンポポの増加とタンポポ調査の意義．関西自然保護機構会誌, 26(1):43-50.
小川 潔（2004）雑種問題とタンポポ調査の課題．関西自然保護機構会誌, 26(1):51-55.
森田竜義（2004）セイヨウタンポポの雑種とは何か？関西自然保護機構会誌, 26(1):57-63.
芝池 博幸・植竹朋子・楠本良延・矢野初美・井手 任（2005）関東地方における雑種性タンポポの遺伝的構造とクローン分布．環境情報科学論文集, (19):279-284.
塚田友二・浜口哲一（2005）平塚市におけるGISを用いたタンポポ類の分布変化の解析．神奈川県自然誌資料, (26):15-20.

芹沢俊介（2006）淡黄色花タンポポの分類．植物地理・分類研究．54:21-26.
タンポポ調査・近畿2005実行委員会（2006）タンポポ調査近畿2005調査報告書.
伊東明・名波 哲（2006）近畿における在来，外来，雑種タンポポの分布状況．関西自然保護機構会誌, 28(1):27-36.
井手 任・植竹朋子・芝池博幸・楠本良延・平舘俊太郎・矢野初美・保谷彰彦・吉村泰幸・清水矩宏（2006）畜産草地研究所(那須塩原市)におけるタンポポ属植物の生育地特性と遺伝的構造．ランドスケープ研究, 69(5):545-548.
野原恵子（2006）東京都心部に分布するタンポポの種とその生育環境．法政地理, 38:37-46.
今西塩一（2007）タンポポ分布調査における調査ボランティアの活動．関西自然保護機構会誌, 28(2):201-209.
赤阪俊介・伊東 明・名波 哲・平山大輔・山倉拓夫（2007）近畿の雑種タンポポの発芽に及ぼす温度の影響．関西自然保護機構会誌, 29(2):101-110.
小川 潔・芝池博幸・出口雅也・金子真也・森田龍義（2007）タンポポの雑種化と環境指標性の再検討．人間と環境, 33(1):2-12.
保谷彰彦・芝池博幸（2008）外来種タンポポと北海道地方に自生するタンポポの関係．農業技術, 63(10):458-463.
高倉耕一（2009）外来種問題のメカニズムとしての繁殖干涉-タンポポとオナモミの事例．関西自然保護機構会誌, 31(2):119-135.
鈴木 武（2009）外来タンポポの花粉の役割は？-『繁殖干涉』？『強奪種』？関西自然保護機構会誌, 31(2):137-139.
保谷彰彦（2010）雑種性タンポポの進化．種生物学会編「外来生物の生態学」:217-246．文一総合出版.

【福井県】

渡辺定路（1989）福井県植物誌．416pp.

【三重県】

太田久次（1997）改訂三重県帰化植物誌．246pp. ムツミ企画.

【滋賀県】

布谷知夫・高橋政宏(1997)身近な環境調査資料集(生物調査1993～1997)．滋賀県立琵琶湖博物館, p. 3-26.
村田 源（2004）近畿地方植物誌．256pp. 大阪自然史センター.

【京都府】

松良俊明（1981）在来種タンポポと帰化種タンポポの分布調査．京都教育大学理科教育研究年報, 11:45-53.

【大阪府】

自然を返せ！関西市民連合タンポポ調査委員会（1975）私たちはタンポポから何を学ぶのか・・・？かけはし, (33):1-22.
堀田 満（1975）大阪府下のタンポポ類の分布．Nature Study, 21:38-41, 55-56.
木村 進（1982）なぜセイヨウタンポポが都市に広がっているのか—都市化に伴うタンポポ類の分布変化とその原因．Nature Study, 28:75-78.
大阪自然環境保全協会タンポポ調査委員会(1986)タンポポを指標にした大阪府下自然度調査の報告．関西自然保護機構会報, (13):57-72.
渡邊幹男・小川美穂・内藤敬江・神崎 護・下村英基・芹沢俊介（1997）大阪府における雑種性帰化



タンポポの頻度と分布. 関西自然保護機構会報, 19(2):69-77.
大阪自然環境保全協会タンポポ調査委員会 (2001) タンポポ調査・大阪2000報告書 タンポポが語る大阪の自然.
渡邊幹男・来本麻世・花井隆晃・中川雅代・櫛田敏宏・伊東明・芹沢俊介 (2002) 大阪府堺市泉北ニュータウンにおける雑種性帰化タンポポの分布の変化. 関西自然保護機構会誌, 24(1):15-20.

【兵庫県】
兵庫県自然保護協会タンポポ班 (1976) タンポポ調査中間報告.
兵庫県自然保護協会タンポポ班(1977) タンポポは語る一市民の手による都市の自然破壊度調査報告. 兵庫県の自然, 7:4-8.
小西敏昭・長谷川太一 (1982) 兵庫県川西市における二種のタンポポの分布と環境との相関」 (第一報). 関西自然保護機構会報, (8):1-12.
中西敏昭・長谷川太一・谷村 潔 (1988) 環境指標としてのタンポポの分布の多変量統計解析. 兵庫生物, 9(4):241-244.
記念誌タンポポ班 (2010) タンポポ調査 (全県調査). 日本生物教育会第65回大会記念誌 9-14.
神戸市立六甲アイランド高等学校 (2010) 六甲アイランドで見つかった謎の巨大タイイポポについて. 日本生物教育会第65回大会記念誌 15-21.
姫路市立姫路高等学校 (2010) 姫路城のタンポポの現状-タンポポの外来化・雑種化の進み具合を調べる. 日本生物教育会第65回大会記念誌 204-205.
兵庫県立伊川谷北高等学校、兵庫県立星陵高等学校 (2010) 伊川のタンポポのDNA解析調査について. 日本生物教育会第65回大会記念誌 224-228.

【奈良県】
奈良県生物教育会 (1977) タンポポの調査. 奈良県生物教育会誌, 17:26-31.
野外調査研究委員会 (1996) 生物分布調査 (タンポポ) の結果. 奈良県生物教育会誌, 36:14-29.

【和歌山県】
和歌山大学自然保護の会 (1980) 和歌山市におけるタンポポの分布.
和歌山県立自然博物館 (1983) タンポポからみた海南市の環境, 特別展「帰化生物」解説書第1回, 45-46.
青木敏郎 (1985) 和歌山県田辺市周辺におけるタンポポ類の分布について, 和歌山県高等学校教育研究会理科部会会誌, 21:6-40.
大橋佳子・西野泰生 (1985) 紀伊半島におけるタンポポの分布と変異, 和歌山大学教育学部生物学部卒業論文.
岡本明浩 (1987) 紀伊半島におけるタンポポ属植物の分布と変異Ⅲ, 和歌山大学教育学部生物学部卒業論文.
大井俊徳 (1988) 紀伊半島のタンポポの分布と変異, 和歌山大学教育学部生物学部卒業論文.
増田泰久 (2001) 和歌山市におけるタンポポの分布推移, 紀州生物, 30:59-62.

【鳥取県】
米原幸子・永松 大・有川智己 (2011) 米子市湊山公園周辺の在来二倍体タンポポ. 山陰自然史研究, 6:(in press) .

【島根県】
島根県立三瓶自然館・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団 (2006) みんなで調べる島根の自然 タン

ポポ調査2005 しまねのタンポポ. 36pp. 島根県自然環境課・財団法人三瓶フィールドミュージアム財団.
隠岐自然館 (2006) オキタンポポと外来タンポポ. 19pp. 隠岐自然館.
葭矢崇司 (2007) 島根県内のタンポポ分布調査について. 島根県立三瓶自然館研究報告, 5:7-11.

【岡山県】
岡山の自然を守る会植物部会編 (1977) 第一回タンポポ調査報告. くさむら, (1):58-67.
末広喜代一・山田恵子 (1980) 岡山県玉野市におけるタンポポ属 *Taraxacum* の分布と生育環境. 香川大学教育学部研究報告第Ⅱ部, 30(2):157-180.
岡山の自然を守る会 (1994) 岡山市身近な環境調査について. 「生き物をさがそう! ニュース臨時号」岡山市編 (1998) 身近な環境調査報告書. 53pp. 岡山市環境保全課.
山陽放送編 (1998) おかやま市・くらしき市・たかまつ市市街地タンポポレポート たんぽぽ探偵団調査結果「だんでらいおん BOOK」. 12pp. 山陽放送, 岡山市.
倉敷市編 (2001) 身近な自然調査報告書. 48pp. 倉敷市環境保全課自然保護係.

【広島県】
根平邦人・瀬川道治・小林祐子・金田典子 (1977) 広島市におけるタンポポ類の分布状況. 植物と自然, 11(2):18-20.
根平邦人・瀬川道治・小林祐子・金田典子 (1977) 広島城付近のタンポポ類の分布. 植物と自然, 11(10):16-18.
根平邦人・長弘道男・近藤勝彦 (1980) 瀬戸内海地域におけるタンポポ類の分布. 広島大学総合科学部紀要Ⅳ. 環境科学研究, 5:55-64.
根平邦人 (2003) 都市化とタンポポの分布. 広島経済大学研究論集, 25(4):5-13.
根平邦人 (2004) 武田山周辺地域におけるタンポポの分布-宅地開発に関連して-. 広島経済大学研究論集, 26(4):5-15.
根平邦人 (2004) タンポポが語る人間活動. 広島経済大学研究論集, 27(2):51-54.
根平邦人 (2004) アストラムライン沿線周辺地域におけるタンポポの分布. 広島経済大学研究論集, 27(3):31-40.
根平邦人 (2005) 広島市中心地域におけるタンポポの分布. 広島経済大学研究論集, 28(3):1-9.

【山口県】
岡 国夫ほか (1972) 山口県植物誌, pp. 530-431. 山口県植物誌刊行会, 山口.
岡 国夫ほか (2000) 山口県産高等植物目録, pp. 70-71. 山口県植物研究会, 山口.
時田房江 (1997) モウコタンポポ. わたしたちの自然史, (99):21. 北九州市立自然史博物館.

【徳島県】
阿部近一 (1990) 徳島県植物誌. 580pp. 教育出版センター, 徳島.
徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会編 (2001) 徳島県の絶滅のおそれのある野生生物-徳島県版レッドデータブック-. 徳島県.

【香川県】
末広喜代一・山奥恭子・田岡美奈子・蓮井博子 (1989) 高松市におけるタンポポの分布. 香川大学教育学部研究報告第Ⅱ部, 39:103-126.
末広喜代一・新見紀子 (2010) 高松市市街地部におけるタンポポの分布. 香川大学教育学部研究報告第Ⅱ部, 60:19-30.



【愛媛県】

山本四郎（1978）愛媛県産植物の種類．217pp．愛媛植物研究会．

伊藤隆之（2004）愛媛県産基準標本植物リスト．愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門記念誌「愛媛の生物誌」編集部編「愛媛の生物誌」：117-131．愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門．

【高知県】

（財）高知県牧野記念財団編（2000）高知県レッドデータブック（植物編）．422pp．高知県文化環境部環境保全課．

高知県・財団法人高知県牧野記念財団編（2009）高知県植物誌. 844pp．高知県・財団法人高知県牧野記念財団

和食敦子・藤川和美・橋越清一・松田真季・源紗耶加・渡邊幹男・芹沢俊介（2010）四国西部に生育する低地性二倍体タンポポ．日本植物分類学会第9回大会要旨集，pp75．

【福岡県】

中島一男（1952）福岡県植物目録．福岡県林業試験場時報 6： 1-129．

時田房江（1996）キビシロタンポポ．わたしたちの自然 58:19．北九州自然史友の会．

時田房江（1997）モウコタンポポ．わたしたちの自然 59:21．北九州自然史友の会．

筒井貞雄（1999）福岡市中央部のタンポポ類．九州大学全学共通教育広報 Radix 21:6-7．

福岡県環境部自然環境課（2001）福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック2001-．448pp．福岡県．

【佐賀県】

馬場胤義（1981）佐賀県植物目録．266pp．佐賀植物友の会．

宮脇博巳・杉原 浩・山崎 工（1996）佐賀県産教材植物の研究（3）ータンポポ類．佐賀自然史研究, 1（2）：41-46．

佐賀県希少野生生物調査検討会（編著）（2000）佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物ーレッドデータブックさがー．472pp．佐賀県環境政策局環境企画課．

上赤博文（2010）「タンポポ調査西日本 2010」佐賀県の結果，佐賀の植物，（46）：27-38，佐賀植物友の会．

＜巻末参考資料＞

1．主な調査参加団体・参加協力者

調査にあたってはたくさんの方々との協力を得ることができた。紙面の都合上全部を掲載することができないが、団体を中心にその一部を紹介する。

【福井県】 NPO法人ウェットランド中池見、大橋美智子（プラントピア友の会）川原 茂、河端佑美（万葉中学校）、小林則夫、敦賀市立図書館、敦賀市西公民館、敦賀市民活動支援センター、どんぐり倶楽部、野坂いこいの森、中池見 人と自然のふれあいの里、ナチュラリスト敦賀 緑と水の会、福井県海浜自然センター、福井県自然観察指導員協議会、福井県自然保護センター、福井自然史博物館、福井総合植物園プラントピア朝日、福井県立ろう学校、若狭町立三方小学校、

【三重県】 自然観察指導員三重連絡会、亀山市自然に親しむ会、三重県立博物館サポートスタッフ、上野森林公園モリメイト、関西自然観察会、名張福祉園芸グループ、しぜん ふしぎ ワンダーランド、泊山南部たけクラブ

【滋賀県】 琵琶湖博物館フィールドレポーター、琵琶湖博物館「はしかけ」グループ、水口子どもの森、近江富士花緑公園、甲西北中学校、環境と科学のフェスティバル実行委員会

【京都府】 綾部市天文館（白波瀬理恵氏）、京都府生物教育会、京都府立東稜高校、京都府立桃山高校、島田（名倉）京子氏

【大阪府】 あおぞら財団、生き生き地球館、池田・人と自然の会、NPO 法人みのお山麓保全委員会、大阪自然史博物館友の会、大阪シニア自然カレッジ、大阪市立豊崎中学校、大阪市立汎愛高等学校、大阪よどがわ市民生活協同組合、開明中学校、関西大学北陽中学校、神戸製鋼所労働組合、空の会、堺自然観察会ゆっくるっく、堺植物同好会、自然観察指導員大阪連絡会、自然と本の会、自主学习グループはらっぱ、シニア自然大学、吹田自然観察会、生活協同組合おおさかパルコープ、高槻中学校、とよなか市民環境会議アジェンダ21、兵庫県立人と自然の博物館、枚方いきもの調査会、枚方しぜんハイキング、枚方市立山田東小学校、府立泉鳥取高等学校、府立北かわち阜が丘高等学校、府立四條畷高校、府立泉北高等学校、府立豊島高等学校、府立刀根山高等学校、府立大和川高等学校、箕面市立第三中学校、みのお生物多様性会議（いきものネット）、みんなでかんさつ隊、西淀自然文化協会、淀川自然観察会

【兵庫県】 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県生物学会, 兵庫県高等学校教育研究会生物部会, 山陰海岸ジオパーク推進協議会, 伊丹市立中学校理科部会、神戸市シルバーカレッジ、県立三田祥雲館高校、県立有馬高校、神戸市立六甲アイランド高校、姫路市立姫路高校、姫路市立飾磨高校、県立大付属高校、西宮市立西宮東高校、県立西宮南高校、県立加古川西高校、県立淡路三原高校、県立淡路高校、県立伊丹高校、県立伊川谷北高校、県立北条高校、県立宝塚西高校、県立兵庫高校、県立姫路飾西高校、県立西宮南高校、県立篠山鳳鳴高校、県立芦屋国際教育学校、小林聖心女子学院、賢明女子学院、伊丹市立荒牧中学校、伊丹市立天王寺川中学校、伊丹市立東中学校、伊丹市立北中学校、伊丹市立南中学校、伊丹市立笹原中学校、伊丹市立松崎中学校、伊丹市立西中学校、姫路市立山陽中学校、姫路市立広峰中学校、西宮市立甲陵中学校、宝塚市立すみれが丘小学校、篠山市立篠山小学校、篠山市立畑小学校、篠山市立日置小学校、篠山市立今田小学校、篠山市立城南小学校、篠山市立後川小学校、篠山市立古市小学校、篠山市立雲部小学校、篠山市立福住小学校、篠山市立味間小学校、篠山市立八上小学校、篠山市立大山小学校、篠山市立大芋小学校、篠山市立村雲小学校、



篠山市立西紀小学校、篠山市立西紀南小学校、丹波市立和田小学校、丹波市立北小学校、丹波市立南小学校、丹波市立東小学校、丹波市立竹田小学校、丹波市立大路小学校、丹波市立進修小学校、丹波市立神楽小学校、丹波市立新井小学校、丹波市立小川小学校、丹波市立三輪小学校、丹波市立黒井小学校、丹波市立鴨庄小学校、丹波市立遠阪小学校、六甲山自然案内人の会、姫路自然観察の森、丹波自然友の会、三木自然愛好研究会、グリーンキッズ、三菱電機（株）

【奈良県】安堵中学校、生駒東小学校、上野地中学校、馬見公園自然観察友の会、オオヤマレンゲの会、乙田休耕田クラブ、河合野鳥の会、近畿大学、郡山北小学校、自然観察指導員奈良連絡会、聖徳中学校、帝塚山高校、天理大学、奈良教育大学、奈良勤労者山岳会、奈良高校、奈良県生物教育会、市民生活協同組合ならコープ、奈良県ネイチャーゲーム協会、奈良理科の会、二階堂高校、西川第一小学校、平群北小学校、真美ヶ丘第二小学校、緑ヶ丘中学校、室生中学校文化研究部、森と水の源流館、矢田南小学校、吉野高校、ろう学校高等部、ろう学校中学部、（県外：茨田高校、大阪シニア自然カレッジ、開明中学校、四条畷高校、高槻中学校、鳥取環境大学、平野小学校）

【和歌山県】和歌山県立自然博物館、和歌山県立自然博物館友の会、和歌山大学教育学部、和歌山県高等学校理科研究会、和歌山植物研究会、和歌山県レッドデータブック改訂委員会植物、植物群落部会、環境省熊野自然保護官事務所、和歌山県立紀伊風土記の丘、和歌山県植物公園緑花センター和歌山市四季の里公園ネイチャーセンター、和歌山市子ども科学館、田辺市ふるさと自然公園センター、橋本ひだまり倶楽部、根来山げんきの森倶楽部、自然回復を試みる会、ビオトープ孟子、和歌山県生物同好会、南紀生物同好会、熊野自然保護連絡協議会、和歌山県立日高高等学校、和歌山県立笠田高校、印南町立清流中学校

【鳥取県】琴浦町立赤碕中学校、自然観察指導員 鳥取連絡会、森林公園とつとり出会いの森、鳥取県生物学会、鳥取県立大山自然歴史館、鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館、鳥取県立米子白鳳高校、鳥取市立北中学校、鳥取市立久松小学校、鳥取市立国府中学校、鳥取市立末恒小学校、鳥取市立日進小学校、鳥取環境大学、鳥取大学、（財）中海水鳥国際交流基金、伯耆町立岸本小学校、伯耆町立八郷小学校、三朝町立東小学校、三朝町立三朝中学校、もりまきフィールドネットワーク、米子市立彦名小学校

【島根県】赤屋小学校、海士小学校、アンダンテ21、飯南高校、五十猛小学校、邑智中学校、隠岐自然倶楽部、隠岐自然村、風の子学習館、北三瓶小学校、杵束公民館、左鐙小学校、三瓶自然館インタープリタの会、三瓶自然館友の会、白砂公民館、島根県高等学校理科教育協議会、島根県自然保護レンジャー、島根県自然公園指導員、島根県自然観察指導員連絡協議会、島根植物研究会、大社高校、高田小学校、津和野高校、頓原公民館、中野小学校、にちはら自然の会、邇摩高校、平田高校、福井小学校、益田小学校、松江南高校、松江農林高校、松江市立女子高校、松江市立第二中学校、松江市立第三中学校、三刀屋高校、矢上高校、安田小学校、横田高校、横田中学校、その他

【岡山県】岡山科学技術専門学校、岡山県自然保護センター友の会、岡山県立倉敷天城中学校、岡山市立高島中学校科学部、笠岡市立六島小学校、河辺高野自然教室、久米南町立神目小学校、倉敷市立黒崎中学校、倉敷市立自然史博物館友の会、倉敷市立真備東中学校科学部、山陽女子中学校、玉島児童館ドキドキ体験クラブ、玉野市立胸上小学校石島分校、津黒いきものふれあいの里友の会、津山市立中正小学校、日本ボーイスカウト岡山連盟倉敷第14団ビーバー隊、備前市立神根小学校、備前市立日生南小学校、なぎの子じゅく

【広島県】広島県高等学校教育研究会理科部会生物部、北広島町立芸北高原の自然館、久藤広志（呉市立奥内小学校）、吉野由紀夫（東和環境科学株式会社）、和田秀次（広島県環境保健協会）

【山口県】秋丸浩毅、安溪大慧、安溪貴子、安溪遊地、今田岳村、内田ひかり、桑田健吾、酒井智恵、酒向令恵、咲花文隆、末広雄次、瀧本美智子、寺森正行、中村恵津子、中村 久、西山 敢、福富郁夫、前崎光生、真崎和子、真崎紅子、真崎 久、真崎 博、舛田良樹、松井茂生、松崎秀人、三井紀久恵、南 敦、三宅貞敏、山根文人

【徳島県】阿南工業高等専門学校、阿波市立市場中学校、三好市立落合小学校、NPO 法人カライフネイチャーネットワーク、北島町北島中学校（科学部）、三好市立佐野小学校、正法寺川を考える会、千年の森ふれあい館、徳島市環境リーダー、徳島県自然保護協会、徳島県植物研究会、徳島県立城東高等学校（生物部）、徳島県立城南高等学校、徳島県立博物館、徳島県立ひのみね支援学校、三好市立栃之瀬小学校、鳴門教育大学、鳴門教育大学附属中学校、徳島市入田中学校、みどりくらぶ

【香川県】香川植物の会、香川生物学会、みんなでつくる自然史博物館・香川、香川県高等学校教育研究会生物・地学部会、香川大学教育学部、香川大学教育学部附属高松中学校、香川大学農学部、県立丸亀高校、県立高松西高校、高松第一高校、県立土庄高校、県立高松高校、香川県大手前高校、県立高松桜井高校、坂出市立櫃石中学校、県立丸亀城西高校、県立香川中央高校、県立高松東高校、県立津田高校、香川県みどり保全課、香川県自然科学館

【愛媛県】愛媛県立内子高校、愛媛県立宇和島東高校、愛媛県立大洲高校、愛媛県立大洲農業高校、愛媛県立北宇和高校、愛媛大学教育学部、愛媛植物研究会、愛媛県総合科学博物館、愛媛県立丹原高校、愛媛県地方局農村整備課、愛媛県立八幡浜高校、伊方町立佐田岬小学校（愛媛県）、伊方町立町見郷土館（愛媛県）、内子町産業観光課（愛媛県）、面河山岳博物館（愛媛県久万高原町）、かわうそ復活プロジェクト（愛媛県八幡浜市）、佐田岬みつけ隊（愛媛県）、さんきら自然塾、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、伊藤貞夫（愛媛県四国中央市）、井手上光夫（愛媛県今治市）、河野一男（愛媛県西予市）、松田久司（愛媛県八幡浜市）、宮内紘直（松山市）、安井令子（愛媛県今治市）

【高知県】土佐植物研究会、四国自然史研究センター、NPO 法人黒潮実感センター、桜美学院、高知県立高知女子大学、高知県立四万十高等学校、高知県立春野高等学校、高知県立梶原高等学校、佐川町立尾川中学校、四万十市立蕨岡中学校、青木佳子、市村聖子、江口秋美、大野八郎、大野美香、川村恒介、竹内久宜、田村邦雄、田村満香、濱田紀子、依光忠宏

【福岡県】北九州植物友の会、北九州市立自然史・歴史博物館、自然史友の会、福岡タンボポ調査会、糸島植物友の会、県立八女高校

【佐賀県】佐賀植物友の会、佐賀自然史研究会



2. 主な観察会や説明会

調査を進めるにあたって、各府県で観察会や説明会が開催された。ご協力ならびにご参加いただいた皆様に深く感謝する。なお、講師の敬称は略させていただいた。

【福井県】

2009年4月26日 「タンポポ調査現地説明会／調査実習」、敦賀市中池見湿地、中池見 人と自然のふれあいの里、講師：木村進、鈴木武 NPO法人ウエットランド中池見主催
2010年4月17日 総合学習「ふるさと敦賀塾」中池見の自然を楽しもう 春の観察会「タンポポを調べよう」、敦賀市中池見湿地、敦賀気比高等学校附属中学校主催

【三重県】

2010年4月10日 自然観察会「タンポポ調査に参加しよう」三重県民の森
2010年4月11日 自然観察会「タンポポ調査、西日本2010」大仏山公園
2010年5月29日 説明会「タンポポ調査、西日本2010」三重県立博物館

【滋賀県】

2009年5月10日 タンポポ調査のデータ整理と勉強会 琵琶湖博物館会議室
2009年5月23日 里山の観察会（タンポポ含む） 志賀町
2010年2月7日 タンポポ調査勉強会 琵琶湖博物館実習室
2010年4月11日 タンポポ観察会 彦根市
2010年5月9日 タンポポ観察会 高月町

【京都府】

2009年3月28日 京都学園大学バイオ環境学部にて説明会（講師：鈴木武）
2009年4月25日 綾部市天文館にて説明会及び観察会（講師：鈴木武）
2010年3月28日 京都学園大学バイオ環境学部にて説明会（講師：鈴木武）
2010年4月24日 綾部市天文館にて説明会及び観察会（講師：鈴木武）

【大阪府】

2009年3月28日 タンポポ調査2010、大阪説明会、服部緑地公園、都市緑化植物園学習室
2010年3月20日～21日 生物多様性エキスポin大阪(展示参加)、グランキューブ大阪
2010年3月28日 タンポポ調査2010、大阪説明会、大阪市立環境学習センター(鶴見緑地内)

【兵庫県】

2010年3月28日 「タンポポを見よう」県立人と自然の博物館オープンセミナー
2010年4月10日 「深田公園のタンポポ」県立人と自然の博物館オープンセミナー

【奈良県】

2009年4月19日 実行委員会打ち合わせとタンポポ調査第1回調査隊 桜井、明日香方面
2009年5月10日 第2回タンポポ調査隊、宇陀、吉野、川上、下北山方面
2009年5月17日 第3回タンポポ調査隊 五條、黒滝、天川、十津川方面
2010年3月6日 自然環境セミナー 奈良県環境県民フォーラムと県実行委員会の共催
テーマ「今、タンポポに何が起きているのか」講師：鈴木武（兵庫県立人と自然の博物館）

2010年3月27日 タンポポ調査研修会 大和民俗公園（大和郡山市）奈良テレビ取材
2010年4月24日 「アースデー2010 in なら」で展示とワークショップ 奈良県浄化センター自由広場（大和郡山市）
2010年5月9日 第1回タンポポ調査隊 五條、野迫川、十津川方面
2010年5月16日 第2回タンポポ調査隊 大和高原（奈良、山添）方面

【和歌山県】

2009年4月19日 自然観察会「タンポポ調査に参加しよう」県立自然博物館
2009年11月27日 和歌山県高等学校理科研究大会「タンポポ調査から生物多様性を理解する」県立情報交流センターBigU
2010年3月28日 きのかに野外博物館「熊野古道の植物観察」上富田町岡周辺
2010年4月4日 自然観察会「タンポポ調査に参加しよう」県立日高高等学校
2010年4月11日 自然博物館友の会総会 鈴木武（兵庫県立人と自然の博物館）による講演「タンポポ調査で何が分かるか！～身近な自然の生物多様性～」

【鳥取県】

2009年4月22日、6月10日 説明会、観察会、検討会 「多様性生物学実験、タンポポ調査」、鳥取大学地域学部地域環境学科2年学生実習、鳥取大学鳥取キャンパス。
2009年12月12日 学会発表「タンポポ調査・西日本2010 in 鳥取」、平成21年鳥取県生物学会研究発表会、鳥取県立博物館。有川智己、米澤朋子、永松大。
2010年3月14日 自然講座「タンポポ調査2010 山陰地区講演会、説明会」鳥取県立博物館、島根県立三瓶自然館サヒメル共催、米子市児童文化センター。
2010年4月14日、5月12日 説明会、観察会、検討会 「多様性生物学実験、タンポポ調査」、鳥取大学鳥取キャンパス、鳥取大学地域学部地域環境学科2年学生実習。
2010年4月26日 説明会、観察会 「特別講義I、タンポポ調査」、鳥取環境大学キャンパス、鳥取環境大学環境情報学部環境マネジメント学科1年対象。
2010年12月11日 学会発表「タンポポ調査西日本2010 in 鳥取の結果概要」平成22年鳥取県生物学会研究発表会、鳥取県立博物館。有川智己、米澤朋子、米原幸子、永松大。
2010年12月11日 学会発表「米子市湊山球場周辺の在来二倍体タンポポ」平成22年鳥取県生物学会研究発表会、鳥取県立博物館。米原幸子、永松大、有川智己。

【島根県】

2009年5月1日～4日 説明会「タンポポ調査・西日本2010」島根県立三瓶自然館内。
2010年3月14日 説明会「タンポポ調査・西日本2010 山陰地区講演会、説明会」鳥取県立博物館、島根県立三瓶自然館共催、米子市児童文化センター。
2010年5月1日～4日 説明会「タンポポ調査・西日本2010」島根県立三瓶自然館内。

【岡山県】

2010年3月28日 自然観察会「やってみよう！ タンポポ調査」、高梁市松原町神原、倉敷市立自然史博物館、倉敷市立自然史博物館友の会共催。
2010年4月4日 自然観察会「岡山県北部のタンポポ調査」、津山市中北下、倉敷市立自然史博物館、倉敷市立自然史博物館友の会、岡山県自然保護センター友の会、津黒いきものふれあいの里友の会共催。
2010年4月10日 自然観察会「岡山県南部のタンポポ調査」、倉敷市中央1丁目、向山、倉敷市立



自然史博物館、倉敷市立自然史博物館友の会共催。
2010年4月11日 自然観察会「タンポポ調査、西日本2010」、和気郡和気町岡山県自然保護センター、岡山県自然保護センター友の会主催。
2010年5月8日 清心中学校校外学習、岡山県自然保護センター、地職恵。
2010年5月18日 説明会「タンポポ調査、西日本2010」、岡山科学技術専門学校、狩山俊悟。
2010年5月21日 説明会「タンポポ調査、西日本2010と岡山県のタンポポ」、岡山理科大学地球システム科学科、狩山俊悟。
2010年5月23日 説明会「タンポポ調査、西日本2010」、奈義町教育委員会、狩山俊悟。

【広島県】

2010年3月23日 広島県高等学校教育研究会理科部会生物部生物調査研修会
場所：広島市中央公園、広島城跡（広島市中区基町）並びに広島市立基町高等学校
研修内容：タンポポ類を中心とした植生調査および講義（講師：鈴木 武）

【山口県】

2010年3月27日 「下関のタンポポ観察会」山口県植物誌研究会

【徳島県】

2009年4月19日 一般向け野外説明会とスタッフ向けサンプル処理室内実習、徳島県立博物館（講師；鈴木武）
2009年6月21日 タンポポ調査2010 四国のスタッフ講習会、徳島県立博物館
2010年4月25日 徳島県立博物館野外自然かんさつ会「タンポポを探そう」、徳島市（講師；小川誠）
2010年4月28、30日、5月6日 鳴門教育大学附属中学校への出前授業「タンポポ調査について」、（講師；小川誠）

【香川県】

2009年1月11日 「香川植物の会」メンバーを対象にした説明会、香川大学教育学部。
2009年3月 1日 「香川植物の会」メンバーを対象にした現地観察会、香川県綾歌郡綾川町粉所西。
2010年1月10日 「香川植物の会」メンバーを対象に予備調査結果の説明会、香川大学教育学部。
2010年4月17日 「みんなでつくる自然史博物館、香川」主催のフィールド講座「タンポポ調査」にて一般参加者を対象に説明会と現地調査、香川県高松市東植田町、公洲森林公園。

【愛媛県】

2009年2月7日 （愛媛大学教育学部）第40回南予生物教育談話会にて説明。松井宏光。
2009年2月22日 （松山東雲短期大学）愛媛植物研究会研究発表会にて説明。松井宏光。
2010年3月6日 （大洲高校）第41回南予生物教育談話会にて高校の生物教員に説明。橋越清一。
2010年3月7日 （大洲高校）鈴木武（兵庫県）と小川誠（徳島県）の指導で、高校理科教員と一般参加者を対象にタンポポ説明会を実施。
2010年5月9日 （大洲市内ほか）鈴木武（兵庫県）の指導で県実行委員会の検討会を実施。

【高知県】

2009年5月17日 タンポポ調査2010、高知県実行委員会 予備調査進捗状況説明会
2010年1月23日 土佐植物研究会総会 タンポポ調査2010 予備調査成果報告

2010年2月6日・7日 環境活動支援センターえこらぼ文化祭 タンポポ調査2010PR
参加者募集
2010年2月11日 タンポポ調査2010、高知県実行委員会 本調査にむけて
2010年2月13日 自然観察指導員連絡会講演会 タンポポ調査2010 予備調査結果報告、調査説明会
2010年3月22日 高知県立牧野植物園イベント タンポポ調査2010 高知県みんなで身近な環境を調べよう観察会
2010年3月28日 四万十町地区タンポポ調査2010 説明会
2010年4月18日 アースデイズ、ピクニック タンポポ調査2010PR、参加者募集
2010年7月17日 タンポポ調査2010、高知県実行委員会 本調査進捗状況説明会
2011年1月23日 土佐植物研究会 タンポポ調査2010調査結果報告
2011年3月26日 高知県立牧野植物園 タンポポ調査2010 高知県報告会

【福岡県】

2010年2月27日 午前：北九州地区説明会（北九州市立自然・歴史博物館）
午後：福岡地区説明会（九州大学箱崎キャンパス）

【佐賀県】

2011年1月23日 佐賀植物友の会総会「タンポポ調査・西日本2010」佐賀県の結果報告



3. 主なマスコミ報道一覧

調査にあたっては各地でタンポポ調査に関する報道がなされた。報道後は問い合わせや参加者が増えるなどタンポポ調査への関心が高まり、より活発な調査ができるようになった。

【福井県】

中日新聞（福井版）．2009年4月21日「タンポポ、外来種、それとも在来？ 敦賀のNPO、調査参加者を募集 26日、中池見湿地で観察会」
県民福井．2009年4月21日「タンポポ分布調査、協力を、敦賀のNPO 花や種採取、参加者募集」
福井新聞．2009年4月25日「タンポポ調査県民参加を あす敦賀で説明会」
読売新聞（福井版）．2009年5月15日「県内初 タンポポ調査、NPOが参加者募集 京阪神では外来種拡大」

【三重県】

中日新聞． 2010年4月15日「身近なタンポポは在来種？」

【滋賀県】

2010年7月9日 タンポポの調査からわかること 「失われる『つながり』と『にぎわい』」 県政週刊プラス1 7月10日放送

【京都府】

京都新聞．2009年3月 説明会の紹介記事

【大阪府】

産経新聞．2009年5月2日 「タンポポが伝える環境破壊」
朝日新聞．2010年5月 「在来タンポポ守る城 姫路、彦根、岸和田、開発減少 千里、泉北でも復権」

【兵庫県】

産経新聞 2010年3月6日 「タンポポを送って！ 西日本の分布状況を調査」

【奈良県】

奈良テレビ．2010年3月30日 新番組「ゆうドキッ！」で、タンポポ調査の意義や方法について、くわしく紹介された。
他に、県内マスコミ各社に調査への記事掲載をお願いし、奈良新聞、朝日新聞（県内版）などで掲載された。

【和歌山県】

朝日新聞(和歌山版)．2009年4月26日「外来種増？在来種減？タンポポ一緒に調べよう」
テレビ和歌山．2009年5月19日 あっとテレわかトピックス「自然博物館 タンポポ調査」

【鳥取県】

日本海新聞．2009年5月22日「クシバタンポポが群生 鳥取県版準絶滅危惧種 鳥取で中学生発見」

日本海新聞．2010年3月4日「鳥取県立博物館だより『鳥取のタンポポの正体を調べよう！』」
毎日新聞(鳥取版)．2010年3月9日「在来VS外来 タンポポ戦争、市民参加 地図作製、14日、米子調査説明会」

日本海新聞．2010年3月12日「タンポポの勢力争いを解き明かせ」
読売新聞(鳥取版)．2010年3月15日「タンポポ在来種多い？ 米子で市民観察会」
山陰中央新報．2010年3月15日「タンポポ調査協力を 西日本の分布状況 参加者に説明会 米子野外観察通じ知識」
山陰放送(ラジオ)．2010年4月10日 13:30～13:35 土曜亭らじおDON! 「情報マップなんとんと タンポポ調査西日本2010in鳥取について」
NHK総合テレビ(中国地方、鳥取県)．2010年4月12日 7:50～7:54 おはよう中国、18:20～18:25 いちおしNewsとっとり「ちょっとユニーク 山陰のタンポポ」
NHK総合テレビ(鳥取県)．2010年4月16日11:45～11:55 とっとり暮らしの情報便「ちょっとユニーク 山陰のタンポポ タンポポ調査2010in鳥取について」
毎日新聞(鳥取版)．2010年10月20日「県内のタンポポ調査 外来種9割、西日本トップ」

【島根県】

山陰中央新報．2009年3月26日「ふしぎにチャレンジャータンポポ調査に参加しませんか？」
読売新聞．2010年2月20日「ふるさと自然散策ーヤマザトタンポポ」
朝日新聞．2010年4月11日「タンポポ調査、参加して 在来、外来種の分布」

【岡山県】

山陽新聞．2010年3月7日「タンポポ調査 参加して 28日から各地で説明会 関心盛り上げ」
山陽新聞．2010年3月19日「自然観察会『やってみよう！タンポポ調査』」
山陽新聞．2010年3月30日「自然観察会『岡山県北部のタンポポ調査』」
山陽新聞．2010年4月6日「自然観察会『岡山県南部のタンポポ調査』」

【徳島県】

四国放送．2009年5月13日「おはよう徳島」
徳島新聞．2010年4月21日「タンポポ調査協力を 県立博物館呼び掛け」
ケーブルテレビ徳島．2010年5月10日「タンポポ調査について」
四国放送．2010年5月17日「おはよう徳島」
ワイヤーママ．2010年6月14日「徳島県立博物館、野外自然かんさつ「タンポポを探そう」

【香川県】

朝日新聞(香川版)．2010年4月18日「タンポポ分布調査 外来種農村部に拡大」

【愛媛県】

愛媛新聞．2009年3月22日 探せタンポポ在来種
愛媛新聞．2010年3月22日 本県に多彩な在来種

【高知県】

毎日新聞高知県版．2010年2月7日 支局長からの手紙「元気印の花を探せ」
高知新聞．2010年3月23日「タンポポの“秘密”を探る」



高知新聞、2010年4月5日 新聞を読んで「タンポポをめぐる興亡」

毎日新聞高知県版. 2010 年 4 月 6 日 ミニ黒潮日記

高知新聞, 2010年4月19日 声ひろば「応援したい在来種」

毎日新聞高知県版、2010年8月2日 支局長からの手紙「タンポポが教えるもの」

NHK 高知. 2010 年 3 月 22 日 お昼のニュース、夜のニュース「タンポポ調査 2010、みんなで身近な環境を調べよう」観察会イベントの放送

RKC 高知放送. 2010 年 3 月 30 日 18:25~「タンポポ調査 2010、身近な自然を調べる」

【佐賀県】

佐賀新聞. 2010年3月24日「在来種か外来種か タンポポ調査西日本広域で 県内分布 初の解明へ」

読売新聞佐賀地域版. 2010年4月29日「インタビュー2010 佐賀のタンポポ調査に協力を」

ジャパンFMネットワークのフラワーズというコーナーに電話生出演（4月下旬～5月上旬）

*新聞報道の一例

産経新聞 2009年5月2日 「タンポポが伝える環境破壊」



終わりにあたって

「タンポポ調査・西日本 2010」の報告書をようやくまとめることができた。2005 年の調査での経験があったとはいうものの、参加府県が福井県から佐賀県まで大幅に拡大したため、各府県の代表に集まっていただくことも大変であり、さらに、在来種タンポポの同定のむつかしさもあって、35 年前に大阪府だけで調査を始めた当時と比べると、調査の複雑さは当初の想像以上であった。

しかし、全体の報告、および各府県からの報告にあるように、その成果は大きなものがあり、西日本全体での在来種タンポポと外来種タンポポの分布の概略が初めて明らかになった。また、カンサイタンポポの分布が特定の地域に集中していることが明らかになるなど、興味深い結果が次々と出てきた。また、地域ごとに種類や生育環境も異なり、広域で調査を行ったことの利点も明らかにできた。さらに、一部の地域では、長期にわたるモニタリング調査を含んでおり、大阪などでは在来種の復活も確認されるなど、タンポポとその生育環境との関係については、さらに明確になってきた。当初からの課題であった雑種タンポポについても、研究者の努力によってその性質が少しずつ解明されてきており、雑種タンポポの存在を念頭に置いて、タンポポを使った環境調査を継続するという一番大きな課題にも何とか目途がついたといえるだろう。

今回は 2005 年の調査の終了直後からの準備が始まったといってもいいかもしれないが、実行委員会全体としては、2008 年 1 月に実行委員会の発足会議が持たれ、13 回のスタッフ会議と 4 回の実行委員会が持たれた。その間には、学会やイベントでの発表と各府県実行委員会相互の交流、マスコミへの発表と対応などが幅広くもたれ、全体の調査の継続とその結果として 78000 地点の情報の収集へとつながった。

タンポポ調査は、もっとも広く行われてきた住民による生物調査であるが、今回の西日本全域での同時調査によって、いわゆる生物指標調査が、研究者と市民との協力によって、新しい形を持ちうることを確認できたとともに、市民参加型調査としても、また、同時に研究者の専門的な研究としても、新しい成果をあげることができたと考えている。

参加された多くの個人の皆さんや、協力していただいた市民団体、博物館、研究団体、研究者、各府県の実行委員会、事務局を担当していただいた多くの方々などの協力によってこの調査が成立したことに對して、お礼を申し上げたい。また、本調査には、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワークや武田科学振興財団など、多くの助成金の支援を受けた。特に、この報告書を発行することができたのは、(財)花と緑の博覧会記念協会と(社)大阪自然環境保全協会の助成金によるものである。深く感謝したい。(文責：布谷、木村)

タンポポ調査・西日本 2010 報告書

2011 年 3 月 1 日発行

編集、発行 タンポポ調査・西日本 2010 実行委員会

事務局：社団法人 大阪自然環境保全協会内

〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202

TEL 06-6242-8720、FAX : 06-6881-8103

実行委員会ホームページ：<http://www.nature.or.jp/Tampopo2010>

E メールアドレス：tampopo2010@nature.or.jp

印刷、製本 株式会社アットワークス

© The Executive Committee of Dandelions Survey 2010 in West Japan、
2011

この報告書は(財)花と緑の博覧会協会の「助成金」と、(社)大阪自然環境保全協会の「特定自然保護活動支援金」によって作成されました。